

実はここにも



総務省

平成 18 年 5 月 22 日（月）

平成 17 年度行政相談実績の公表

総務省 秋田行政評価事務所

当事務所の業務につきましては、日頃より格別の御協力を頂き誠にありがとうございます。

さて、先般御案内の「春の行政相談週間」に関連して、次の資料がまとまりましたので御利用ください。

☆ 平成 17 年度行政相談実績

平成 17 年度に当事務所及び県内 82 名の行政相談委員が処理した行政相談実績について公表いたします。

詳細については、別紙のとおりです。

担当：行政相談課長 宮嶋

電話：018-824-1426

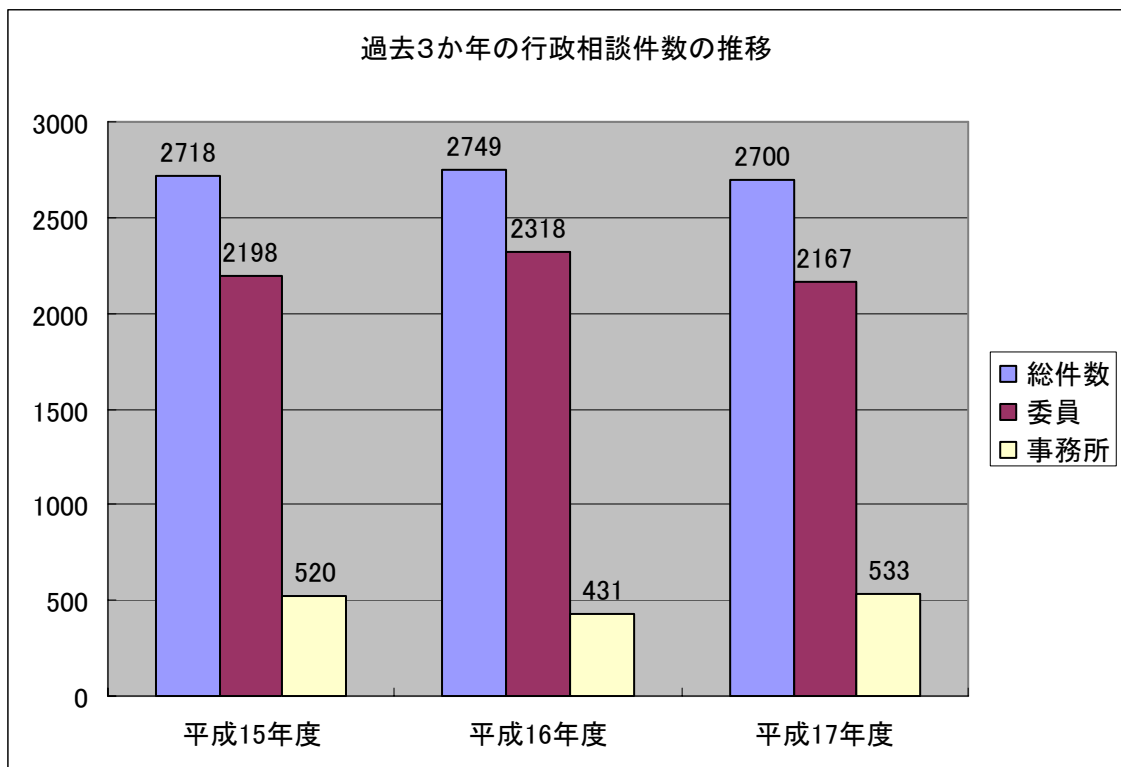
FAX：018-824-1427

e-mail：akita30@soumu.go.jp

総受付・処理件数

平成 17 年度の行政相談の総受付・処理件数は、2,700 件と対前年度比 49 件の減少。

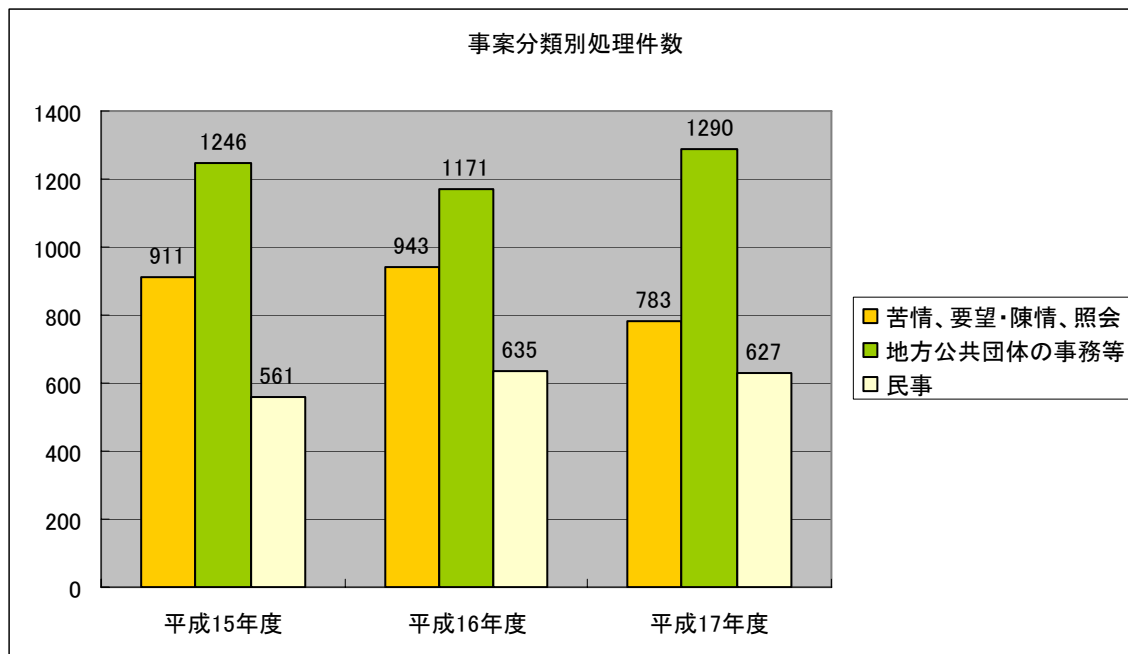
これを受付・処理形態別にみると、事務所の受付・処理件数は 102 件増加。一方、行政相談委員の受付・処理件数は 151 件減少している。



事案分類別等処理件数

事案分類別処理件数は、国の行政機関等（地方公共団体への補助金・法定受託事務を含む。）に対する苦情、意見要望及び照会が 783 件と対前年度比 160 件減少。一方で、地方公共団体の事務等に対するものが対前年度比 119 件増加している。これは、平成 18 年豪雪に関連して住民に身近な地方道等の除雪に関する苦情・要望が増加したためである。

また、国の行政機関等への苦情、意見要望及び照会では、国道の維持・管理に関するものが最も多く、次いで社会福祉関係、登記・戸籍関係、郵政関係等となっている。



主な行政相談解決事例

1 車道に出て投函しなければならない危険なポストを改善してほしい

相談内容

秋田市内の市街地にある郵便ポストは、差し出し口が車道に向けており、投函するには車道に一旦出る必要があり、大変危険である。改善してほしい。

改善結果

相談を受けた行政相談委員は、郵便局に対し、差し出し口の向きを改善するよう要請しました。その結果、差出口の向きが歩道側に変更され、安全に投函できるようになりました。

2 暗くて危ないトンネルを改善して欲しい

相談内容

国道のAトンネルの中央部の照明には消えているものが多い。トンネル内が暗く大変危険なので早急に対処してほしい。

改善結果

行政相談委員を通じて相談を受けた行政評価事務所では、トンネルの管理者である河川国道事務所に対し、早急に現地確認を行い、改善するよう要請しました。

河川国道事務所が現地を確認したところ、さび、塵芥等が付着していたので、機器の点検・清掃が行われ、トンネル内の照明は正常に点灯するようになりました。

3 サービスエリアに備えてある車椅子の管理の適正化

相談内容

私は、足が不自由なので自動車道のサービスエリアで昼食をとる際に、車椅子を借りた。しかし、その車椅子は、タイヤの空気が抜けており、乗り心地が悪く、介護者も大変そうであった。せっかく貸出し用の車椅子が備えてあるのだから、点検・整備をきちんと行ってほしい。

改善結果

行政相談委員を通じて相談を受けた行政評価事務所では、サービスエリアを管理している日本道路公団（現高速道路株式会社）の管理事務所に対して、車椅子の点検整備を適切に行うよう要請しました。

その結果、車椅子は、利用者の立場に立った適切な点検・整備が行われることになりました。

4 表示内容が適切でない道路標識を改善して欲しい

相談内容

国道7号と県道56号との分岐点前に、県道方向は「大曲・秋田市街」、国道方向は「大館・能代」と表示した案内標識が設置されている。ところが、秋田市街へ行くとして「大曲・秋田市街」の表示に従って県道を進むと、逆に秋田市中心部から遠ざかってしまう。市街とは、通常中心部を示す言葉であり、「大館・能代」方向に進むと秋田市中心部に到達できることから案内標識を訂正してほしい。

改善結果

行政相談委員を通じて相談を受けた行政評価事務所が現地を確認したところ、案内標識は、紛らわしく不親切なものでした。そこで、国道を管理している河川国道事務所に改善するよう要請しました。

その結果、案内標識から、県道方向からは「秋田市街」という表示が削除され、国道方向には新たに「県庁」の表示が追加されました。



5 故障したままの「見えるラジオ」

相談内容

道の駅の休憩所には、「見えるラジオ」が設置されており、緊急情報入手に役立っている。ところが、2か月ほど前から、ずいぶん前の地震情報を表示したままとなっており、故障していると思うので、修理してほしい。

改善事例

相談を受けた行政評価事務所で、道の駅に設置されている「見えるラジオ」を確認したところ相談内容のとおり、以前の地震情報が繰り返し表示されている状態でした。そこで、「見えるラジオ」を管理している河川国道事務所に対し、修理するよう要請しました。

その結果、「見えるラジオ」は、修理され、最新の情報が表示されるようになりました。

6 分かりにくい道の駅の入口の表示を改善してほしい

相談内容

秋田から山形方面に南進し、道の駅に入ろうとしたところ、誘導する表示も不親切で右折レーンも定かでなかったため、誤って進入禁止の看板がある出口専用のところに進入してしまい、大変ヒヤリとした。安心して出入りができるようにしてほしい。

改善事例

相談を受けた行政評価事務所で現地を確認したところ、現況では、右折レーンの区画線が消えているなど道路交通上安全性に欠ける点がありました。そこで、道路と道の駅を管理している河川国道事務所に対し、右折レーンの区画線を引き直すこと、道の駅敷地内の路面表示や案内表示を追加し、ドライバーが安心して道の駅を利用できるように改善できないか要請しました。

その結果、右折レーンの区画線が引き直され、また道の駅敷地内の路面表示や案内表示も追加され、安心して道の駅が利用できるようになりました。



7 自分の土地なのに建設省名義となっている登記を訂正して欲しい

相談内容

所有地に対して固定資産税が課せられていないことを疑問に思い、市に問い合わせたところ売買により建設省の所有となっていることが分かった。この土地は、以前から水田であり、買収に応じたこともない。登記を訂正してほしい。

改善結果

相談を受けた行政評価事務所では、この土地の管理者である秋田県とともに現地を確認しました。現地を確認した結果、秋田県の台帳では砂防工事のための買収とされていましたが、土地は、砂防工事に使われた形跡がなく、また、面積等について台帳と登記を対照すると、一致しない点があったことから、行政評価事務所では、建設省を所有者とする登記について訂正できないか、秋田県に検討を要請しました。

その結果、登記は、申出人を所有者とするものに訂正されました。